

福祉会便り

平成23年1月25日 発行：特定非営利活動法人どんぐり福祉会
長野県長野市川中島町原771-4
Tel 026-299-3288 fax 026-299-3266



本年もよろしく申し上げます

平成19年9月にケアホーム・グループホームどんぐりの家。平成20年7月に就労継続支援B型どんぐりファームファーム。平成22年4月に第2どんぐりの家が開所をしました。

どんぐり福祉会が発足し、今年で10年目。法人格を取得してからは4年になります。今まで、どんぐり作業所・どんぐりファームをご利用頂いた方は46名、どんぐりの家は10名の方がご利用いただいています。その中には、企業へ就職した人・他施設へ移動した人などもあります。現在どんぐりファームは26名・どんぐりの家は10名の方が登録をしています。今までに利用を頂いた方にとって、満足いくサービスの提供が出来ていたかと思うと必ずしも、そうではない時もあったと思いますが、施設としてその時に出来る限りのことを行いたいと思います。

私たちの法人の施設は利用される人にとって、その方の人生の大きな部分を占める場合があります。中には人生自体を大きく左右する事もあります。とても大きな責任・役割を持った活動をしている事になります。それを考えると、日々施設で働いている職員の人たちには大いに力を発揮し、それを支える主体である法人がさらに発展していく事を願っています。会員のお一人お一人のご協力が不可欠になりますので、今年もご協力・ご指導のほどよろしく申し上げます。

就労継続支援A型事業所 開所に向けて！！

1月15日に理事会を行いその中で、どんぐり福祉会の発足時から念願の一つだった、就労継続支援A型事業所(以前は福祉工場という名称でした。)の開所が、明確になってきました。

「A型事業所」聞き慣れない言葉ですが、どんな施設かと言うと、どんぐりファームは就労継続支援B型ですが一番大きな違いは、利用される方と雇用契約を結んで作業訓練を行う事になります。B型では毎月工賃という形でお金を支払いますが、A型では給料という形になります。つまり一般の企業に近い形で訓練をして頂き、スキルアップをしてもらう施設になります。

では、具体的には？

①どこに開所するか？

松代東条に柿の木農場の松代支店としてえのき工場の一部を借用して事業を行います。(松代高校のそばです)

②何をするのか？

えのき栽培を行います。えのきの菌を植えてある、ビンを柿の木農場から買い、それを生育して、出来たえのきを柿の木農場に買ってもらうという形になります。
また夏場には、農耕の仕事もあります。

③開所日はいつ？

これから長野県へ申請書類を提出しますので、早くても今年の4月にオープンになります。

④どの位の利用者さんが通所するの？

定員を10名にしますので、その範囲内でスタートします。職員もその人数に合わせた配置をするようになります。

⑤開所にむけて必要なことは？

細かい点については、県の指導を受けながら整備していきます。えのき栽培に係る設備は、柿の木農場から施設と一緒に借用します。

栽培にも、高度な技術が必要になりますので、これについても柿の木農場からの技術指導をお願いしてあります。

具合の良いトイレが無いので、開所時には間に合わないにしても整備をします。(改修に400万程度掛ります)

良い施設になるように、皆さまのご支援・ご協力をお願いします。

トラクター購入しました

報告が遅くなりましたが、昨年の秋に日本財団の助成金と会員の方からのご寄付を合せて、トラクターを購入しました。

昨年、東寺尾に広大な農地をお借り出来るようになり、以前から借りていた農地と併せると、とても手押しの耕運機では、耕しきれない面積になってきました。そこで、トラクターが必要になり購入をしました。

秋からの使用でしたが、冬前の最後の耕うんなどと大活躍をしてくれています。これでまた、春からは今まで以上に良い野菜が出来るように期待をしています。また、販売の際はチラシなどをお送りしますので、お買い求めください。



寒い日が続きますが、風邪などひかない様、お体には気をつけてお過ごしください。